

ロードエル〈張出式歩道用床板〉

茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京 神奈川 山梨 長野 静岡

短期間で安全な歩道の建設を可能とする張出式歩道用床版です。

●特長

1.安全性

片持構造ですが逆T型の底版によって過大な地耐力を必要とすることなく高い安定性が得られます。

2.経済性

現場でのコンクリート打設等の作業が極めて少ないため、施工性が高く交通障害の減少に役立ちます。

3.施工性

擁壁兼用構造となっているため、路肩や基礎の施工が簡単で大幅な工期の短縮が図れます。



設計条件

■荷重条件

上乗荷重(車道部) : $q=10.0 \text{ kN/m}^2$
群集荷重(歩道部) $q=3.5 \text{ kN/m}^2$ (安定検討時)
 $q=5.0 \text{ kN/m}^2$ (断面検討時)

■土質条件

土の内部摩擦角 : $\phi=30^\circ$
土の単位重量 : $\gamma_s=19.0 \text{ kN/m}^3$
摩擦係数 : $\mu=0.5, 0.6$

■安定条件

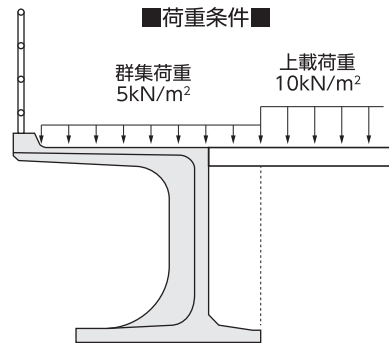
転倒偏心距離 : $|e| \leq B/6$
滑動安全率 : $F_s \geq 1.5$

必要地耐力

呼称	H-1000	H-1250	H-1500	H-1750	H-2000	H-2250	H-2500	H-2750	H-3000
$\mu=0.6$	30.0	30.0	30.0	35.0	35.0	50.0	55.0	60.0	65.0
$\mu=0.5$	25.0	25.0	30.0	30.0	35.0	45.0	50.0	55.0	60.0

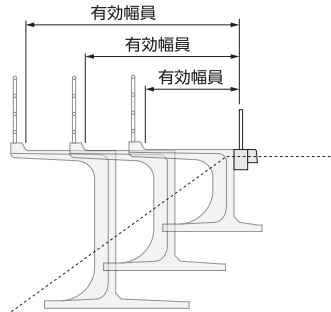
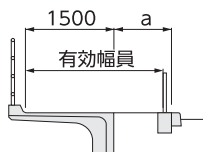
■材料強度

コンクリートの設計基準強度 : $\sigma_{ck}=30 \text{ N/mm}^2$
鉄筋の許容引張応力度(SD295A) : $\sigma_{sk}=180 \text{ N/mm}^2$



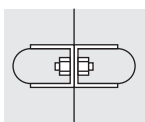
有効幅員

a寸法の調整によって歩道の幅員は1.3mより自由に拡張することができます。

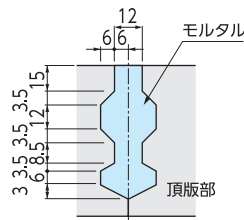


接合部詳細

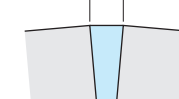
ジョイント金具



目地



MAX=50mm



(標準目地で対応の場合)

※50~100mmは目地部加工品でエキスパンドメタル等を併用してください。



基本形状図

形状・寸法
重量表

管渠類

地下雨水貯留施設

擁壁類

側溝類

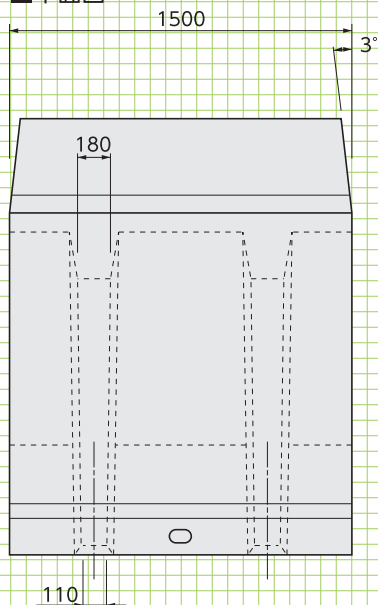
道路関連

景観関連

その他

参考資料

■平面図

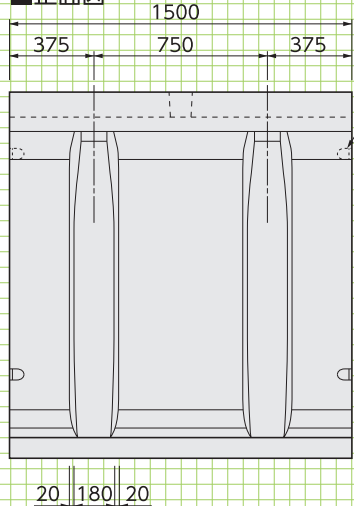


■寸法・重量表

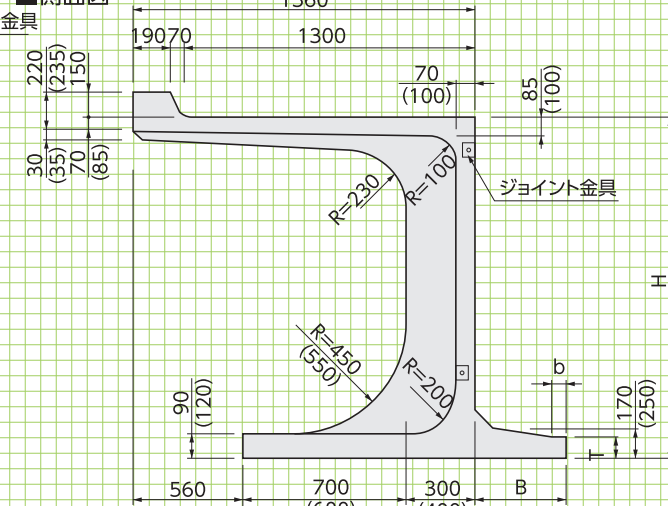
呼称 (H)	寸法(mm)				参考重量 (kg)
	H	B	T	b	
H-1000	1000	300(470)	147(133)	—(—)	1644(1732)
H-1250	1250	470(660)	133(119)	—(—)	1861(1950)
H-1500	1500	630(840)	121(105)	—(—)	2078(2164)
H-1750	1750	770(1000)	110(100)	—(100)	2284(2368)
H-2000	2000	900(1150)	100(100)	—(250)	2485(2572)
H-2250	2250	910(1180)	143(112)	—(—)	3609(3729)
H-2500	2500	1040(1330)	128(100)	—(50)	3888(4000)
H-2750	2750	1180(1480)	112(100)	—(200)	4179(4283)
H-3000	3000	1280(1620)	100(100)	—(340)	4446(4561)

※()内の数値は $\mu=0.5$ の場合の寸法を示します。

■正面図

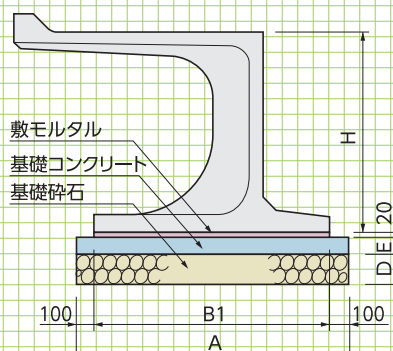


■側面図



※()内の寸法はH=2250～3000の製品を示します。

■標準施工断面図



■コンクリート基礎工による標準敷設材料表

(10m当り)

呼称 H	寸法(mm)				基礎工			
	A	B1	D	E	基礎碎石 (m ²)	基礎コンクリート (m ³)	基礎型枠 (m ²)	敷モルタル (m ³)
H-1000	1500	1300	150	120	15.00	1.800	2.40	0.260
H-1250	1670	1470	150	120	16.70	2.004	2.40	0.294
H-1500	1830	1630	200	150	18.30	2.745	3.00	0.326
H-1750	1970	1770	200	150	19.70	2.955	3.00	0.354
H-2000	2100	1900	200	150	21.00	3.150	3.00	0.380
H-2250	2110	1910	200	150	21.10	3.165	3.00	0.382
H-2500	2240	2040	200	150	22.40	3.360	3.00	0.408
H-2750	2380	2180	200	150	23.80	3.570	3.00	0.436
H-3000	2480	2280	200	150	24.80	3.720	3.00	0.456

※B1数値は $\mu=0.6$ の場合の寸法を示します。

ロードエル

参考歩掛り

■参考歩掛り (10m当り)					
呼 称 (H)	世話役 (人)	ブロック工 (人)	普通作業員 (人)	ホイールクレーン (日)	諸雑費 (%)
H-1000	0.30	0.30	0.90	0.30	11
H-1250	0.30	0.30	0.90	0.30	11
H-1500	0.30	0.30	0.90	0.30	11
H-1750	0.34	0.34	1.02	0.34	11
H-2000	0.34	0.34	1.02	0.34	11
H-2250	0.34	0.34	1.02	0.34	11
H-2500	0.34	0.34	1.02	0.34	11
H-2750	0.39	0.39	1.17	0.39	11
H-3000	0.39	0.39	1.17	0.39	11

1. 本歩掛は、現場内小運搬(10m程度)を含み、敷きモルタルの施工・ブロック間の接合・目地詰めおよび吸出防止材の設置までの作業であり、床堀・基礎コンクリート・埋戻しは含みません。
2. 本歩掛は、ブロック長さL=1.5m/個を標準とします。
3. ホイールクレーンは賃料とし、規格は右表参照。
4. 仮設に使用する場合は、上記歩掛を適用してください。
5. 撤去歩掛は、据付歩掛の50% とします。
6. 諸雑費は、敷きモルタル・目地モルタル・吸出防止材の材料費で労務費・ホイールクレーン(排ガス対策型)賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上してください。

■機種の選定

機 種	規 格	張出歩道床版の高さ(H)		
		1.0以上 1.5以下	1.5超 2.5以下	2.5超 3.0以下
ホイールクレーン 排ガス対策型	4.9t吊	○		
	16t吊		○	
	20t吊			○

施工手順

① 製品搬入



- ・製品は必ず3点で吊り上げてください。
- ・重量物ですので、吊り荷の下には、絶対入らないでください。

② 基礎工



- ・基礎の形式は、基礎地盤の地下水の有無や地耐力などの土質条件よりその地盤の施工方法を決定する必要があります。
- ・先端のつま先部の施工には特に注意し、基礎下部の土砂の崩壊が起こらないようにしてください。

③ 製品据付け



- ・製品は必ず3点で吊り上げてください。
- ・埋戻しが終わるまで、歩道部での作業は行わないでください。

④ 埋戻し



- ・埋戻し土は良質のものを使用し、十分に転圧を行ってください。

⑤ 完成



- ・転落防護柵を取付け、目地部にモルタルを充填して完了です。



注意事項

1. 施工中(埋戻しが終わるまで)は張出部に乗らないでください。
2. 施工中は進入防止柵を設け、工事関係者以外の人が作業現場内に入らないようにしてください。

施工事例

■施工事例1

① 施工前



② 施工後



■施工事例2

① 施工前



② 施工後



■施工事例3

① 施工前



② 施工後

